

解答はすべて解答用紙に書きましょう。

**問題 1**

えりかさんの学級では、国語の時間に、「日本の伝統」というテーマで調べたことや考えたことをまとめ、報告する文章を書くことになりました。えりかさんは、日本の伝統的な食品である「みそ」について調べ、下書きをしています。次の【調べたことをまとめたノートの一部】、【給食担当の先生のお話】、【ALTのマイク先生のお話】、【文章の下書き】を読んで、あとの問い(1)～(5)に答えましょう。 ※ALT…外国語の授業の補助をする先生。

**【調べたことをまとめたノートの一部】**

「**A**」

- 平安時代の書物に、みそという言葉が出てくる。
- 鎌倉時代、「みそ汁」が作られるようになった。
- 戦国時代の武士は、みそを戦場に持って行った。
- 江戸時代、各地から江戸にみそが運ばれ、みそ屋がはじまった。

**「みその栄養素」**

- みそには、たんぱく質、炭水化物、し質、無機質など、たくさんの栄養素がふくまれている。

**【給食担当の先生のお話】**

みそは風味がよく、様々な料理に使われます。給食の献立には、「みそ汁」、「さばのみそに」などがありますね。

みそには、肉や魚のおいさを消す働きや、食品を長持ちさせる働きがあります。みそにつけこんだ食品は、味がよくなるだけでなく、保存がきくようになります。

また、みそには、様々な健康によい成分がふくまれています。そのため、病気の予防にも効果があるそうですよ。



**【ALTのマイク先生のお話】**

「みそ汁」は英語で miso soup(ミソスープ)といいます。外国でも食べられている日本食の1つです。私も、miso soupが大好きです。

miso soupは、日本食レストランで食べることができます。日本食レストランのメニューには、他にも、みそを使った料理があります。

世界の国々で、日本食レストランが増えているそうです。アメリカの私の家の近くにも、日本食レストランがいくつかありますよ。



**【文章の下書き】**

みそは、日本の伝統的な食品で、昔から日本各地で特色のあるみそが作られています。

みその歴史は古く、平安時代の書物には、みそという言葉が出てきます。当時、みそは、役人の給料の一部として支給されていました。家庭科で学習した「みそ汁」が作られるようになったのは鎌倉時代です。戦国時代の武士は、栄養のあるみそを戦場に持って行きました。江戸時代になると、みそは、しよ民の食品になりました。そのため、大都市の江戸では、みそが不足し、各地から江戸にみそが運ばれました。(①) また、みそは健康によい食品だといわれています。みそには、**B**。

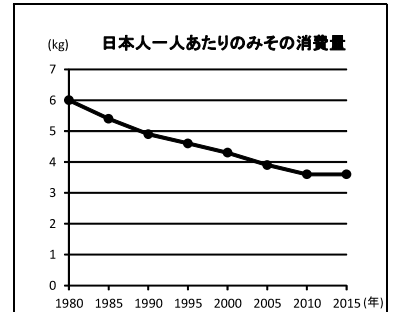
風味がよいことも、みそがずっと食べ続けられてきた理由の1つだと思います。「みそ汁」の他にも、「さばのみそに」など、様々な料理に使われています。

ところで、私たち日本人は、みそをどれくらい食べているのでしょうか。グラフ1は、「日本人一人あたりのみその消費量」の変化を表したものです。このグラフを見ると、みその消費量はだんだん減っていることがわかります。これは、食生活が変化したことが原因だといわれています。確かに、私の家でも朝ご飯は、パンとサラダのように、みそを使わない献立になることがあります。(②)

一方、世界では、みそが注目されています。グラフ2は、「日本からのみその輸出量」の変化を表したものです。このグラフを見ると、みその輸出量はだんだん増えていることがわかります。その理由の1つとして、**C**が考えられます。

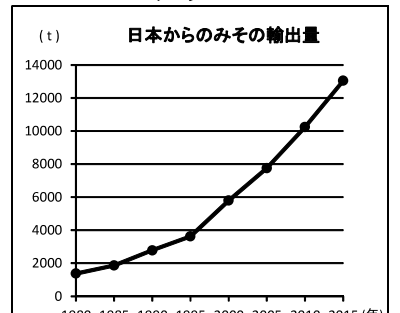
みそは、世界でも注目を集めている日本の伝統的な食品です。(③)

グラフ1



(農林水産省統計により作成)

グラフ2



(財務省日本貿易月報により作成)

(1) 【調べたことをまとめたノートの一部】の**A**には、どのような言葉が入りますか。当てはまる言葉を、【文章の下書き】から5文字でぬき出して書きましょう。

(2) えりかさんが、【給食担当の先生のお話】の\_\_\_部の「きく」という言葉の意味を国語辞典で調べると、次のような意味と使い方の例が書かれていました。\_\_\_部の「きく」の意味として適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えましょう。

ア 受け入れる。 **例** 忠告をきく。

イ 可能である。 **例** 無理がきく。

ウ 音や声を感じとる。 **例** 音楽をきく。

エ たずねる。 **例** 人にきく。

(3) えりかさんは、みそは健康によい食品であるということについて、【文章の下書き】の**B**に書くことにしました。**B**に入る適切な内容を、【調べたことをまとめたノートの一部】と【給食担当の先生のお話】の中の言葉を使って、40字以上60字以内で書きましょう。

(4) えりかさんは、みその輸出量が増えている理由として考えられることを、【文章の下書き】の**C**に書くことにしました。**C**に入る適切な内容を、【ALTのマイク先生のお話】の中の言葉を使って書きましょう。

(5) えりかさんは、自分の考えを【文章の下書き】に書き加えようとしています。【文章の下書き】の(①)～(③)に当てはまる文を、次のア～ウの中からそれぞれ選び、記号で答えましょう。

ア 健康によく、昔から受けつがれてきたみそが、だんだん食べられなくなっているのは残念です。

イ 栄養豊富で、様々な料理に使えるみそのすばらしさを、多くの人に伝えていきたいと思っています。

ウ みそが、栄養のある食品として、昔から食べ続けられていることにおどろきました。

問題 2

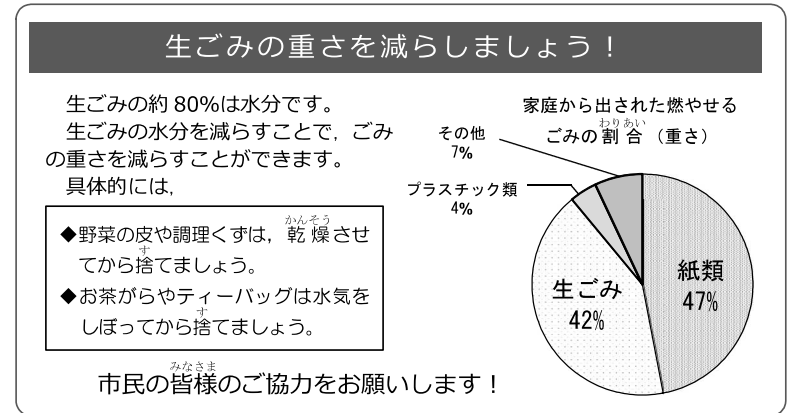
けんたさんの学級では、総合的な学習の時間に、自分たちが住んでいるA市の様子を調べ、「A市の将来像」を考えることにしました。「より住みやすいA市にするために大切なこと」について学級で話し合った結果、「きれいな市にする」「安心してらせるようにする」「市民の交流を増やす」の3つのテーマを設定し、グループごとに調べることになりました。あとの問い(1)～(4)に答えましょう。

(1) けんたさんのグループは、「きれいな市にする」をテーマに、A市のごみの量や種類を調べるため、A市のリサイクルセンターを訪問し、職員の方から話を聞きました。その後、学校にもどって、グループで話し合いました。次の【話し合いの一部】は、そのときの様子です。これを読んで、あとの問い①～③に答えましょう。

【話し合いの一部】

けんた：職員の方の説明によると、A市のごみの量は減っているんだね。  
 さや：でも、ごみ処理のために、毎年多くの費用がかかっていたよ。  
 けんた：だから、各家庭にチラシ(図1)を配って、ごみの量をさらに減らそうとしているんだね。  
 たくみ：生ごみへの対策の他に、リサイクルについても教えてもらったよ。  
 あやか：2000年には、リサイクルを進めるために、資源有効利用促進法が作られて、商品を作る会社は、プラスチック製品に識別マーク(図2)を付けなければならなくなったんだよね。  
 さや：マークが付いたことで、消費者も、より分別しやすくなったんだね。  
 けんた：それぞれの立場でリサイクルを進める役割を担うことが大切だよ。

図1 A市のチラシ



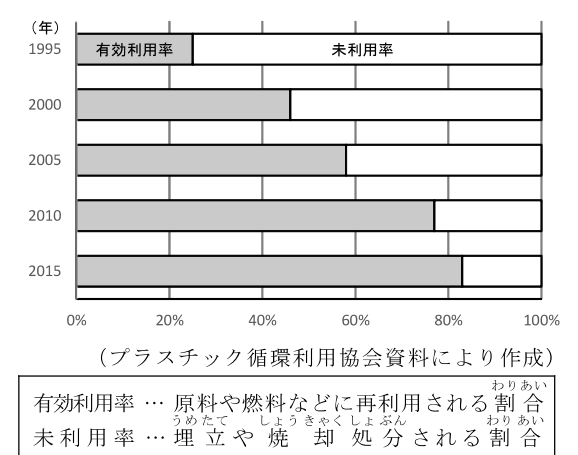
① 図1は、A市が市民に対して、生ごみの重さを減らす方法を提案したチラシです。チラシでよびかけている内容として正しいものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えましょう。

- ア 好ききらいをなくし食べ残しを減らす。
- イ 生ごみは、かわかしてから捨てる。
- ウ 容器の再利用ができる商品を買う。
- エ 野菜の葉や皮を調理して食べる。

図2 識別マーク



図3 プラスチックの有効利用率の推移



② A市では、1年間で3万tの燃やせるごみが家庭から出されています。このうち、生ごみは何t出されていることになりますか。図1にある円グラフをもとに、求める式を書きましょう。(計算の答えを書く必要はありません。)

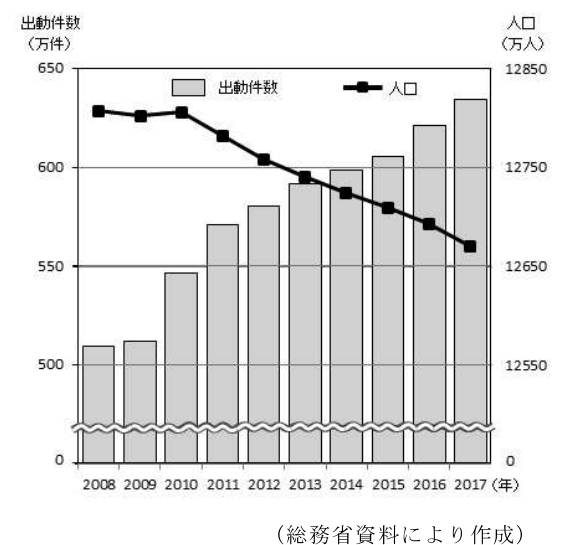
③ 図3を見ると、プラスチックの有効利用率が増えていることが分かります。その理由を、【話し合いの一部】をもとにして、2つ書きましょう。

(2) みさきさんのグループは、「安心してらせるようにする」をテーマに、市民のくらしを守るしくみを調べる中で、次の【救急車についての記事】と図4のグラフを見つけました。あとの問い①、②に答えましょう。

【救急車についての記事】

2017年の救急車の出動件数は、全国で約634万件となっており、前年より約13万件増えています。近年は、過去最高の出動件数を更新し続けています。  
 救急車は、急病や事故などのとき、多くの人にとってたよりになるものです。しかし、基本的に無料で利用できるため、最近では、きん急でないときや軽いけがのときでも救急車をよぶ人が増えているそうです。救急車や救急隊員の数には限りがあります。このため、通報があってから救急車が現場に到着するまでの時間に、遅れが生じるようになりました。本当に困っている人が、必要とするときに救急車を利用することができるように、私たち一人ひとりが考えなければなりません。

図4 全国の救急車の出動件数と日本の人口の推移



① 図4は、全国の救急車の出動件数と日本の人口の推移を表しています。図4から読み取ることのできる内容として正しいものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えましょう。

- ア 2008年と2017年を比べると、救急車の出動件数は約13万件増えている。
- イ 2008年と2017年を比べると、救急車の出動件数は約2倍に増えている。
- ウ 2010年から2017年まで、人口は減っているが、救急車の出動件数は増えている。
- エ 2010年から2017年まで、救急車の出動件数は、人口に比例して増えている。

② 本当に困っている人が、必要とするときに救急車を利用することができるように、私たちはどのようなことに気をつけるとよいでしょうか。【救急車についての記事】をもとに、25字以上35字以内で書きましょう。

(3) かずやさんのグループは、「市民の交流を増やす」をテーマに、A市の行事を調べました。調べる中で、A市では「A市祭り」を続けるかどうかで、市民の意見が分かれていることを知りました。次のア～エの意見は、表1のa～dのどの立場に当てはまりますか。それぞれ記号で答えましょう。

表1 市民の意見を整理した表

	後継者に注目した意見	お金に注目した意見
続けた方がよい	a	b
やめた方がよい	c	d

ア 祭りをすると、観光客が来て、市内のお店がもうかるので、続けた方がいいと思います。

イ 祭りの担い手が、どんどん減っているので、やめる時期だと思います。

ウ 続けるべきです。祭りのよさを知ることによって、将来、祭りの運営をしたいと思う人が増えると思います。

エ 祭りをやめて、公園の整備や清掃のためにお金を使うべきだと思います。

(4) けんたさんの学級では、「A市の将来像」を考える中で、「より住みやすいA市にするために大切なこと」について話し合いました。あなたは、自分の住む市や町を、より住みやすいところにするために、どのようなことに取り組みたいと思いますか。取り組みたいことと、それを取り上げた理由を具体的に200字程度で書きましょう。

注意

- 1行目の1マス目から書き始めてください。段落を設けずに続けて書きましょう。
- 書き終えたあと、付け加えたり、けずったりしてもかまいません。そのときは全部消して書き直す必要はありません。次の例のように直しましょう。

(例) 

目標	続ける
また、	今まで
に	してきた
こと	を
生かす	ことで